

## 1. はじめに

今年度の渡島体育研究会は、令和5年度の活動から見えた成果と課題に基づき、昨年度新しく立ち上げた研究主題（4年計画）のもと、「実践する」をキーワードとして検証を進めているところです。令和8年度に予定されている『北海道学校体育研究大会渡島大会』に向け、渡島体育の提案の軸となる「ともに学びをつくる」の内容について議論を交わし、より多くの子供達が「楽しさ・喜びを実感し、追究する」ことのできる授業のあり方を模索し、挑戦を続けています。

## 2. 渡島支部の研究内容について

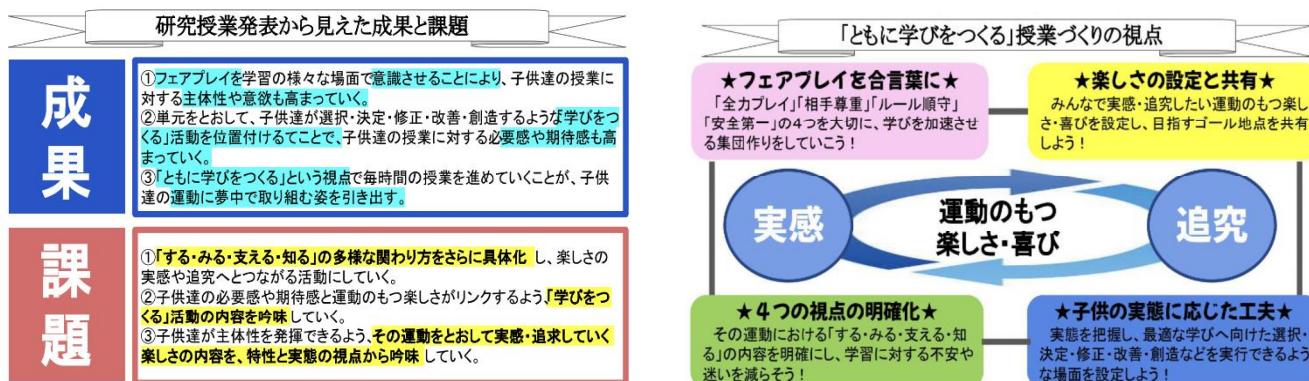
【渡島体育研究会研究主題】

### 『豊かなスポーツライフの実現をめざした「ともに学びをつくる」体育学習の創造』

～楽しさ・喜びを実感し、追究する子供の育成～

（※昨年度の検証の結果から、「創造」の文言の追加と、「おもしろさ」の文言の削除を行いました。）

【令和5年度の活動から見えた成果と課題】



## 3. 主な活動報告

### ①夏季研修会(8月17日)

夏休みに、渡島の先生方を対象に、「リズムトレーニングで体育授業力アップ！」というテーマで実技研修会を開催しました。今年度は、渡体研の会員である小林先生が講師となり、リズム感を高めることで運動パフォーマンスを向上させることができるというリズムトレーニングの考え方が紹介されました。運動を「リズム」と「型」として捉える視点や、ボール運動や器械運動、からだづくり運動などにリズムを活用する方法など、取組の中には、子供達が楽しみながら自然と動きを獲得できるような手立てがたくさん散りばめられており、参加された先生方からとても良い評価をいただきました。今後は、1月に実施される第20回渡島体育研究集会に向け、研究主題のさらなる具体化、研究発表授業の準備、実技研修の準備など、各部でさらなる準備を進めていきます。

【実技研修会の様子】



## ②第20回渡島体育研究集会(1月24日)

- (1)授業公開 「タグラグビー」 福島町立福島小学校教諭 棚山 瑞基
- (2)授業公開 「バスケットボール」 七飯町立七飯中学校教諭 熊谷大樹
- (3)実技研修会 「よき学校づくりに～転び方指導」(財)全日本柔道連盟 田中博之氏

令和6年度 第20回渡島体育研究集会授業研究 成果及び次の一歩

研究発表授業をふりかえって

### Keep(継続)

- ①運動に対する関わり方の明確化
- ②フェアプレイで楽しもうとする雰囲気づくり。
- ③児童の実態に合ったフレームづくり
- ④楽しさや喜びの設定と共有

### Problem(課題)

- ①「ともに学びをつくる」の活動内容の明確化。
- ②主体的と機械的のちがいの見極め
- ③ファシリテーターとしての教師の役割の明確化

### Try(挑戦)

- ・学びをつくるうえでの「**単元を貫く目標**」の設定
- ・「**思いや願い【意図】**」を引き出す場面の設定
- ・**本時レベル**での運動に対する関わり方の明確化

渡島体育研究会←  
ニュース部サイト←



渡島体育研究会←  
ホームページ←

